

葦穂小学校・吉生小学校・柿岡小学校 統合再編に係る説明会 要旨

日時 令和3年7月5日（月） 午後7時から午後7時50分

場所 八郷総合支所101会議室

執行部 児島教育長，豊崎部長，吉澤次長，朝賀参事，小沼教育総務課長，
須加野指導室長，小河原副参事，雨貝課長補佐，佐藤主幹

出席者 11名

次第

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 職員紹介
4. 統合再編計画に係る説明
資料
 - ・石岡市立小中学校統合再編計画
 - ・小中学校年度別将来推計（別紙）
5. 質疑応答
6. その他
7. 閉会

次第に沿って、4. 統合再編計画に係る説明まで行う

(参加者)

統合に際し児童の心のケアについてはどのように考えているのか。また、子どもたちが事前に交流するような機会はあるのか？

(事務局)

ひとつの例として、事前の交流行事などを通じてスムーズな人間関係の構築が図れるようにしていきたいと考えております。生徒指導関連の方針や、学校の規律なども各学校間で調整しながら対応してまいります。

(参加者)

柿岡小の校舎は古いということで、施設の改修などはどのように考えているのか？

(事務局)

柿岡小校舎そのものが49年を経過していることから、老朽化についてはご指摘もいただいているところです。これまでに、耐震補強や普通教室のエアコン設置、児童のトイレの改修を行っております。令和5年度に特別教室のエアコン設置の計画しており、安心安全に教育活動が行われるよう必要な修繕については継続して行ってまいりたいと考えております。

(参加者)

これからの教育、授業の在り方の中で35人での学級編成は規模として果たして適正なのか？15人や20人での小人数の学級編成の方が、先生の日も行き届きやすくなってきめ細やかな教育にも繋がると思う。

(事務局)

今までより学級の人数が増えることにより、ひとりひとりに目が届きにくくなるといった部分はあるかもしれませんが、教員数も増え、多様な考えにも触れることができると考えます。

また、人間関係などで悩みを持っていた場合にクラス替えで新たな関係性を構築することも期待できます。小人数ならではの良さもありますが、社会性などを育ていくためにもある程度の規模は必要かと考えております。

(事務局)

今求められている主体的で対話的で深い学びという部分。従来の教員主導ではなく子どもたちが、色々な関わり合いの中で学んでいく場を教師はコーディネートしていく役割を担っています。学級規模に応じた教員配置もされており、グループ活動などを通じて子どもたちが多様な考え方に触れることで、他の意見を取り入れ更に高いものになっていく可能性を秘めています。

(参加者)

特別支援学級の児童生徒は、先生が変わってしまうことに対して抵抗があるように感じる。その点についての配慮はあるのか？

(事務局)

以前の学校から先生がひとりも配置されないといったことが無いよう、配慮していく事項と考えています。

教員も異動があり必ずしも同じ教員が特別支援学級の担当になるとは限りません。しかし、子どもたちが安心安全に学習できる環境を整えていくことを大前提に考えていきたいと思っております。

(参加者)

スクールバスの停留所までの距離は家庭によって様々だと思う。そういった面での配慮はあるのか？

(事務局)

スクールバスの経路や停留所の位置、そこまでの危険箇所などについては、統合が決定した後に、統合検討委員会及び専門部会の中で協議決定していく考えであります。

(参加者)

統合後の学童はどのようになるのか？葦穂地区の現状として、学童の迎えは祖父母が行っている家庭が多い。スクールバスの降車場所などにも配慮いただきたい。

(事務局)

スクールバスの件と同様に、統合検討委員会及び専門部会に学童を扱う生涯学習課も含めて、ご意見をいただきながら進めてまいりたいと考えております。

(参加者)

スクールバスの費用負担については今まで必要の無かった負担になってくる。補助などは予定しているのか？

(事務局)

保護者負担の部分については、みなさまからご意見をいただいているところです。教育委員会だけではなく、関係部局へもみなさまからのご意見を伝えていき、相談しながら進めていければと考えております。

(事務局)

今後の進め方としては、各地域にお住まいの方々へ向けた説明会を予定しております。その後、各校のPTA役員の方に集まっていただき、統合検討委員会の設置に向けた話合いの場を設けさせていただきたいと思っております。

(教育長)

本日は、学校再編の基本計画等の説明をさせていただきました。みなさまからの貴重なご意見を基に、地域と共にある学校づくりを進めていければと考えております。

学校再編については、保護者の皆様や地域の方々からご意見をいただき、合意形成を図っていくことが何より大切だと思っております。学校に何を望むのか？今後十分な対話を通して進めてまいりたいと考えております。

魅力ある学校づくりの中で、統合再編後の将来ビジョンの共有といったことも大事になってくると思います。より良い学校づくりに繋がっていく道筋などを明確にしていくことが大切になろうかと考えております。保護者、地域の方々との共働関係を活かした学校づくりを何よりも進めていきたいです。

今回様々なご意見をいただきました。新たな学校がスタートすることを契機として、皆様からのご意見を十分に勘案したうえで、学校規模がこれまでよりも大きくなることに対して、新たな教育カリキュラムをどのようにしていくか。新たな学びをどのように保障していくか。こういったことが非常に重要になってくると思います。

もう一点は施設設備面での充実を図っていく。これも相談しながら積極的に進めてまいりたいと思います。

もう一つ、学校統合にかかる様々な課題が生じてくると思います。本日も、スクールバスのことや学童のこと、そして何より子どもたちにとっての環境変化への対応。生活環境や学習環境、教職員との関係が大きく変化してくるために、新たな生活への戸惑いが生じることが想定されます。したがって、十分な配慮を再編の前後に取り組んでいきたいと考えており、継続して環境への適応を支援する体制をしっかりとつくっていききたいです。

本日、新しい学校づくりに関する議論がなされましたが、まだまだ一定の時間を要するものと考えております。継続的な議論を積み重ねていながら、これらの取り組みを通して学校、家庭、地域、行政の関係をより強固なものにしていくことが、より良い学校づくりに欠かせないと感じております。本日はご多用の中ご参加いただき、大変意義のある会となりましたことに感謝申し上げます。